

1401

1072

1

春のあり

くつ下が春をはこんできた

毛玉はうやのうや下はさすやうして

あやしいブルームのうやうや下をはいた

くつ下ぐうい おしやれをしやうと

思つていたが 現実にはひどいものがある

しやうて 毛玉も思いつつ 寒いのは

これで行こうと 知らず知らずとそのまゝ

だつた

現在日記はつてない

一昨年 長い間の日記をシマシマに

家計簿をやめてしやうだ

必要なものはい

つて、けしはなんともなう

が日々が随うくはどろしても必要で

く 通帳と貯蓄のこともすてかいて

いつ来かかると便利だ

そのノット本のこりやうな

くらしのこらしは必じや

ノットはどろしてもし

フヂベレと保つていよ
 フヂベレをも好む水う若いていよ折
 ちよつと春えついで時ふと 知ろ可 知ろ可
 のうちをフヂベレの光水 テーブルとくつ
 いてい瓦
 テレブルをふくと香りよれごれかついで来よ
 今春らしい / ト付あ
 ふと部屋と見かたあは 春はあだ来るんのか
 がすかす 花のあけすす
 香りの昔の金ほよむあこしてくれよ

2022
3/10

春白若ていよのた